

課題

自分の考え

観察

観察 1-C ・ 自然環境【土壌】を調査する

〔目的〕 指標となる生物の種類と数から、土壌が人間の活動の影響を受けているかどうかを確かめる。

〔準備〕 ☐シャベル ☐軍手 ☐ポリエチレンの袋 ☐双眼実体顕微鏡 ☐金網 ☐ろうと ☐電気スタンド  
☐バケツ ☐バット ☐ペトリ皿 ☐ピンセット ☐ルーペ ☐生物図鑑 ☐ゴム手袋 ☐ビーカー  
☐スタンド ☐支持環

ステップ1

土を採取して、中にいる生物の種類と数を調べる

- 1
- 複数の採取場所で付近の様子を記録し、同じ深さの土を掘り取って袋に入れる。
- 2
- 土をバットに広げ、肉眼で確認できる比較的大きな生物をピンセットでビーカーに入れ、ルーペで観察する。
- 3
- 残った土を右図のような装置に入れ、24 時間以上静置する。
- 4
- 装置の下のペトリ皿に入った生物を双眼実体顕微鏡で観察する。
- 5
- 採集した生物の種類と数を 281 ページの資料を参考にしながら調べ、A～C のグループと点数を判定して表に記入する。



【結果の記録】

採取場所の様子と土壌にすむ生物との関係

調べた場所	Aグループ（3点）	Bグループ（2点）	Cグループ（1点）	合計

考察

・ 開発の進み具合と土壌生物の種類や数との間には、どのような関係があると考えられるか。

他の人の考えや意見を記録しよう

<memo>